「天然塩」

陰陽五行では『冬』は「水」の季節、ポイントにな のチカラで先天の

この「腎」は東洋医学でい る臓器は「腎」です。

もに消耗. だけでなく無理な生活やストレスでも消耗し ます。ストレス社会の今、「腎」を養う冬の食は ためと考えられます。また、【先天の本】は年齢 ころは嫌だった香りや苦みの強い食べ物を大 【先天の本】が弱まっている印と考えます。この れやすい・白髪が増える・皮膚の老化・耳が聞こ 【先天の本】と呼ばれる命の源であり、年齢とと 〈生命の源〉と考えられて は少し異なり、内分泌機能(ホル 人になって好む嗜好の変化も【先天の本】を補う 【先天の本】を補う力の中心が《食》です。子供の 、なる・頻尿・生殖機能の低下 し弱まっていくがものです。例えば疲 Ŧ -なども

年間を通して大切なものです。

冬に大切な「腎=先天の本」の働きを助ける 「鹹」には身体を温める作用があります

きなど海草類、栗、えび、シジミ、イカ、牡蛎など。 №1の食材・・・天然塩、味噌、醤油、昆布やひじ なし、「鹹」の食材とはそれを中和する

「陰陽五行」の考えをもとに、生命力を引き出す献

芽ひじき 人参 ごぼう こんにゃく 干し椎茸

出し みりん 醤油

水菜

30Kcal

③ 人参、ごぼう、こんにゃく もせん切りにし、①と② を加えて、出し、みりん、醤 油でコトコトと煮汁がな くなるまで煮ます。

① 芽ひじきは、たっぷりの

② 干ししいたけは、ヒタヒ

ん切りにします。

水でもどしておきます。

夕の水でもどしてからせ

④ 仕上げに、生の水菜を彩 り程度に混ぜ込みます。

赤ちゃんが早くきて欲しいなあ・・・

そのために、毎日コツコツ出来ること

ふたりのるな

・・・そのひとつが食事です。

げ饅頭 銀あんかけ

(6人分)

里芋 300 a 1/2個

塩 みりん 小麦粉 揚げ油

> わさび くこの実

> > あん 薄口醤油 小さじ2 小さじ2 みりん 小さじ1

300cc

① 里芋の皮をむき、適当な大き さに切って茹でます。

「腎」の冬には夏の活動で消耗した心身をいた

助ける「辛」、「鹹」の暴走を押さえる「苦」の食材

109Kcal

甘」の食材も加えたり、場合によっては「鹹」を

- ② ①をマッシャーでつぶし、と き卵を加え、混ぜ合わせます。
- ③ ②を6等分にし、球状にし、 まわりに小麦粉をはたきま す。
- 4 中温でかりっと揚げ、器に盛 ります。
- ⑤ あんを作り、揚げた里芋にか け、くこの実を散らし、わさび を天盛りにします。

今回のポイントは

先天の本を養う

牡蠣と蕪とクリーム煮

- ① 牡蠣は水洗いし、片栗粉をまぶして 1 時間位 置いた後、流水で洗い、黒い汚れを取ります。
- ② タラは薄塩をしておきます。
- ③ ブロッコリーは茹でておきます
- ④ 鍋に蕪、人参、椎茸を入れ、材料がかぶる程度の 出しを入れて煮ます。
- (5) (4) に牡蠣、タラも加え、 火が通ったら豆乳を加え 葛粉で緩やかなとろみ をつけ、さらに塩、薄口 醤油で味を整えます。
- ⑥ 仕上げにブロッコリー を入れ、盛り付けます。

発芽玄米ご飯 244kca

白米 発芽玄米



作り方

万穀

- ①お米を普通通り 洗って、電気釜に セットします。
- ② 発芽玄米と五穀を 大さじ1程度、さっと 水で洗い(1)の釜に 入れ、炊き上げます。



材料(4人分)

200 g

160 a

200 a

80 a

80 a

200cc

適量

適量

薄口醤油 大さじ21/2

ブロッコリー 80 g

牡蠣

タラ

人参

椎茸

豆乳,

出し

塩

黒豆とプルーンの蜜煮

- ① 黒豆は6時間~1晩水に漬けておきます。
- ②①の水をきった黒豆にかぶるくらい の水を入れて煮立て、昆布も加えて、 豆が柔らかくなるまで弱火でコトコ トと煮る。
- かくし味程度 ③ ②にプルーンとてんさい糖と塩を加 えて、10分程度煮ます。
 - ④ 器に盛りつけ、柚子の皮のせん切りを 飾ります。

春菊の酢の物 45Kcal

材料

くるみ

白味噌

酢

作り方 春菊

① 春菊は茹でて、2cm位に 切っておきます。

② お皿にくるみを乗せ、レン ジにかけてカリッとさせ てから、すり鉢ですって ▲ おきます。そこに酢と白味 噌を加えて和え衣を作って おきます。

③ ①と②を和えます。

材料(4人分)

黒豆 180 a 昆布 切手位の大きさ プルーン 80 g てんさい糖 大さじ2

柚子の皮 適量

207Kcal